

1. 目的と概要
本報告書は、我が国の産業構造の転換と雇用の創出に関する政策の検討を目的とする。この報告は、以下の内容を含む。

1. 産業構造の転換と雇用の創出の現状
2. 産業構造の転換と雇用の創出の課題
3. 産業構造の転換と雇用の創出の政策の検討
4. 産業構造の転換と雇用の創出の政策の効果の評価
5. 産業構造の転換と雇用の創出の政策の今後の展望

2. 産業構造の転換と雇用の創出の現状
我が国は、高度成長期を経て、産業構造が高度化・高度サービス化へと転換している。この転換は、雇用の創出にも大きく影響している。特に、高度サービス産業の成長は、雇用の創出に大きく貢献している。一方で、製造業の雇用の減少も懸念されている。

3. 産業構造の転換と雇用の創出の課題
産業構造の転換と雇用の創出には、いくつかの課題がある。まず、高度サービス産業の成長には、人材の育成と確保が不可欠である。また、製造業の雇用の減少を抑制するためには、高度技術者の育成と確保が重要である。さらに、産業構造の転換に伴う雇用の転換も課題の一つである。